



令和6年9月2日

過程での学び

園長 眞家 順子

夏休み中に、パリオリンピックが開催されました。パラリンピックは今、開催中です。オリンピック開会式では、ボランティア保護者と年長児が縫った国旗を日本選手が持つ姿を期待し、オリンピックが始まるのを待つ気持ちが今までと異なりました。実際に関わった旗を選手が手に、行進や応援をしている姿を見つけると、今までよりも身近にオリンピックを感じました。そして、選手が競技に取り組む姿に、「頑張れ」と応援に力が入り「すごい」と喜び、「おいしい」と悔しがり、力を尽くした立派な姿に尊敬の念を抱きました。自分のもてる力を尽くし、望んだ結果が出た選手もいれば、出なかった選手もいました。しかし、結果に関わらず、競技後に選手が周囲で支えてくれている人への感謝の言葉や、次の目標を掲げ、国境や勝敗を越えた選手同士の交流に胸が熱くなりました。親子で一緒に観戦されたご家庭も、あったかだと思います。どのようなことが話題になり、子どもたちは選手の姿から何を感じていたのでしょうか。



2学期は、幼稚園で遊びや生活を通して培っている力を、保護者、地域の方に参観していただく機会が多くあります。子どもたちは、「やってみたい」と思う体験を積み重ね、「もっとやってみたい」「どうしてだろう」「つぎもがんばろう」「できた」という自信を体得していきます。そして、保護者に「みてもらいたい」という気持ちが生まれ、行事につながっていきます。行事までの過程の体験が、子どもたちの大きな学びになっていきます。参観時には、その日の姿だけでなく、子どもたちが取り組んできた過程の姿に目を向けて認めていただくと、「つぎもがんばろう」という意欲が育まれ「みてもらってうれしかった」「ありがとう」の気持ちが育まれるのだと思います。

2学期も自分から興味や関心をもって、関わりたいと思える環境づくり心がけてまいります。元気なときは、毎日登園できるようご協力をお願いいたします。今学期も、ご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

今月の学年目標



- ・幼稚園での生活を思い出し、身の回りのことを自分でしようとする。
- ・自分の好きな遊びをする中で、友達と同じ場で過ごす心地よさを感じる。
- ・教師や友達と一緒に体を動かして遊ぶことを楽しむ。



- ・園生活のリズムを取り戻し、自分で生活に必要なことをしようとする。
- ・第一学期に親しんだ遊びや興味をもった遊びに取り組む中で、友達と関わって遊ぶことを楽しむ。
- ・友達と一緒に走ったり跳ったりし、体を動かして遊ぶ楽しさを味わう。

- ・園生活のリズムを取り戻し、遊びや生活を自分たちで進めていこうとする。
- ・夏休みの経験や自分の考えなどを遊びに取り入れながら、友達と一緒に遊ぶ楽しさを味わう。
- ・いろいろな運動遊びに自分から取り組み、友達と一緒に体を動かす楽しさを味わう。

